

野々市町らしい橋の設計

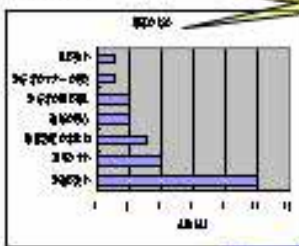
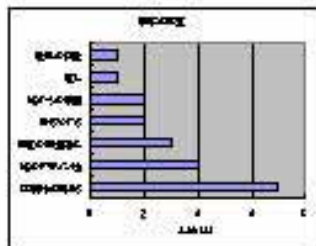
方針

どんな橋が使いやすいのか？
野々市らしいって何か？

アンケート調査の結果

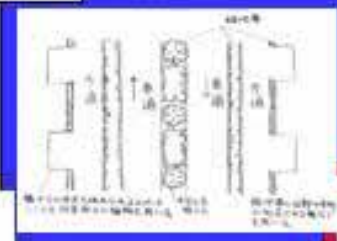
住民の生の声から
橋を使おう！
若者の雰囲気を出そう!!

アンケート結果から、この
ように安全性とデザイン性
の両立が求められた



POINT!!

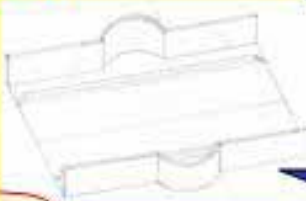
街灯のデザイン
景観スペース
町花の利用



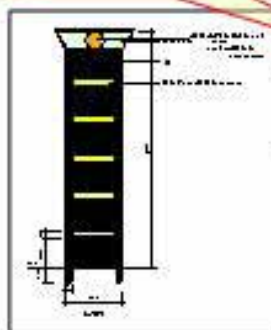
橋の形に影った部分から淡い光が溢れる

最終決定

基本的な形をこのように多選をつけ、さらに休憩スペースを設ける



歩道幅は2mありゆとりと落ち着きがある



野々市らしさを出すために町花(桜)を用いる

景色を眺めるためのスペース
およそ道路の半分
の大きさ

緑化により確保されるスペース

【設計仕様】

型板ガラス
厚み8mm・透過率90%・強度
24.537kN/m

鉄板
厚み5mm・7.872kN/m²・強度580N/m²
高圧ナトリウムランプ
消費電力180W・光束20000lm

緑化と景観スペースの設置により住民がふれあう場所ができ、街灯により路面が明るくなり利用者が安心して利用できる橋が完成

金沢工科大学
100年度 工学設計Ⅱ

プロジェクト:野々市町の街並みに
親しみやすい橋の設計

クラス番号:AP11
チーム番号:0
チーム名:チヨコさん御さん
チームリーダー:今川 一 今川 一 今川 一
チームメンバー: 今川 一 今川 一 今川 一
担当教員: 古川 隆雄 伊藤 昌彦

